

Google for Education

教員と児童生徒のためのソリューション

1人1台 つながる授業を Google と

Google の目標は、教育と学びの変革に取り組む教育者をサポートすることです。

そのために、児童生徒一人ひとりに適した効果の高い教育 / 学習環境づくりに求められる時間、ツール、リソースを各学校が確保できるようにするためのプラットフォームを提供しています。

情報を理解して応用する方法は、個人やコミュニティ、そして世界を変える力があります。学習は情報を有用なものにします。Google が学習のあらゆる取り組みに関わっているのはそのためです。

どんな人でも、どこにいても、そして目標が何であろうと、すべての児童生徒の学習成果を後押しする革新的かつ効果的な教育環境をつくる手段を教育者に提供すべく、既存のソリューションの改善と新たな機能の開発に取り組み、Google の教育 / 学習ツールに最新のテクノロジーを反映させ続けています。



「テクノロジーだけで
教育を改善できるわけではありませんが、
ソリューションとして
有効な手段の1つになりえます。」

スンダー ピチャイ
Google CEO

教員と児童生徒が活用するのに最適 共有可能な端末と共同編集ツール



Google が開発した学習向けパソコンで、軽量で耐久性が高く、ChromeOS で起動が速い。デスクトップ モードとタブレット モードの切り替えができ操作も簡単。安心安全なセキュリティで、管理、運用の手間を省けます。

Chrome Education Upgrade

Google 管理コンソール上から端末の管理や運用も簡単に行うことができる端末管理ライセンス。ログイン ユーザーの制限や、テスト中に別のアプリやブラウザを開けないように設定でき、紛失・盗難時には簡単に端末を無効化できます。



教員と児童生徒の双方向のコミュニケーションを実現する Google Classroom をはじめとした様々なアプリケーションを利用でき、授業における協働学習や校務の効率化を図ることが可能です。

Index

- 04 教育現場での AI 活用ガイド
- 05 導入自治体
- 06 Gemini
- 08 Chromebook plus
- 10 Google for Education GIGA スクールパッケージ
- 12 Chromebook
- 13 Chrome Education Upgrade
- 14 Google Workspace for Education
- 16 Google Classroom
- 17 各種サービスガイド
- 18 導入サポート
- 20 「これからの学び」を実現するために
- 22 Google for Education 教育 DX パッケージ
- 24 導入事例

教育現場での AI 活用ガイド

Google における AI の発展と未来

AI は革新的なテクノロジーですが、Google にとって新しいものではありません。検索、Gmail、フォト、YouTube など、数多くの Google プロダクトですでに採用されており、様々な機能強化や安全性向上を陰から支えています。さらに近年、生成 AI Gemini や NotebookLM などのツールがもたらす新たな可能性に注目が集まっています。

Google は、学習者、教育者、学校コミュニティが AI の力を借りることで、これまで想像もできなかったような方法でその真価を発揮できるようになると考えています。

創造性の解放から個別支援の提供、生産性の向上に至るまで、AI は、パワフルでユニークな様々な方法を駆使して効果的に知識の探求を後押しします。

AI、ML、LLM、生成 AI の定義

各用語の意味を以下に示します。

- **AI** とは、人間の知性に基づく行動を模倣するよう訓練されたシステムを使用して学習し、順応するコンピュータプログラミングです。
- **機械学習 (ML)** とは、マシンがデータから自律的に学習することを可能にする技術です。
- **大規模言語モデル (LLM)** とは、人間の言語を理解、予測、生成できる機械学習モデルです。
- **生成 AI** とは、AI を使用して、テキスト、画像、音楽、音声、コード、動画などの新しいコンテンツを作成することです。

大胆さと責任感のバランス

Google の AI に対するアプローチでは常に大胆さと責任感のバランスを大切にしており、教育向けのツールに関しては特に多方面に配慮し、慎重に取り組んでいます。

このため、Google の専門技術と教育ノウハウを現場で活用する際も、必ず教育者に関与してもらいます。つまり、教育コミュニティと直接連携することで、教師と生徒の利便性向上に役立つプロダクトを開発しているのです。これにより学校は、Google の AI を活用したツールが安全であり、教育者と生徒を念頭に責任を持って開発されているとの認識のもとで、教育ツールを使用できます。

教育関連プロダクトへの Google の AI に関する原則の適用

2018 年、Google は責任あるテクノロジー開発への取り組みの一環として **AI に関する原則** を定めた最初の企業のひとつとなりました。教育ツールにこれらの原則を適用する際に、以下の点を確認しています。

- 1 AI は教育に適しているのか (責任、安全、安心)?
- 2 AI を使用する利点や、どこからどのように始めるべきかが、教育者や生徒に明確になっているか?
- 3 あらゆるレベルや背景を持つ人の成功に役立っているか?
- 4 教育者が生徒の体験に参加し、(必要に応じて) 育成や指導を行っているか?
- 5 教育者と生徒がワークフローをシームレスに利用できるか?
- 6 リーダーが職員や生徒を的確かつ適切にサポートできるか?
- 7 リーダーに十分なツールと管理性を提供しているか?
- 8 リーダーが組織に対して果たすべき要件を実行できるか?
- 9 リーダーに仕事の完了に必要な可視性と分析情報を提供しているか?



AI が教育者の専門性、知識、創造性を代替することは決してありません。しかし、教員と生徒の利便性を向上させ、豊かな学習を実現するための有用なツールにはなりません。

導入自治体

全国の教育現場で利用される Google for Education

Google for Education を導入された一部の自治体を掲載しています。



Google の AI、 Gemini を使って教育の可能性が広がる

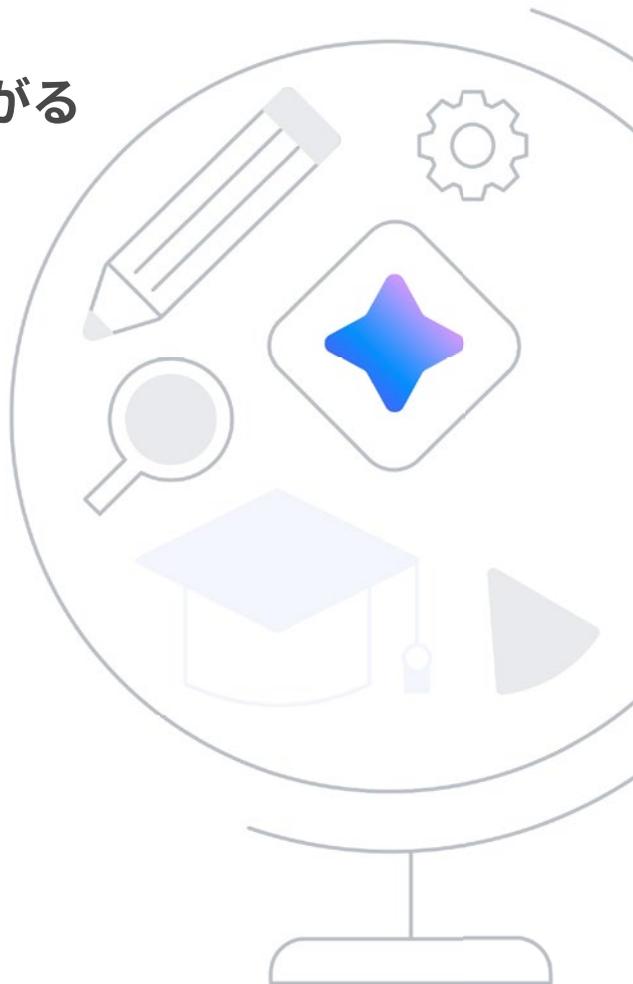
～生成 AI を活用した新しい効率的な働き方、教え方、学び方～

Gemini とは?

あなたの創造力を引き出し、生産性を高める、Google の AI です。Gemini は大規模言語モデル (LLM, Large Language Model) に基づいて、ユーザーのプロンプトの文脈と意図を理解し、リアルタイムでオリジナルの回答を生成します^{※1}。

Gemini はテキスト、画像、URL、PDF、CSVなどを理解でき^{※2}、回答にはテキスト、プログラミングコード、URL、表、画像、グラフ、マップなどが含まれます^{※3}。Gemini の能力は広範囲でありながら、日々の学習によりさらに進化しています。

※1 LLM とは、ユーザーのプロンプトとこれまでに生成されたテキストに基づいて、次に来るであろう単語を予測できる生成 AI です。※2 PDF、CSV については順次対応予定です。※3 画像、グラフ、マップについては順次対応予定です。



時間の 節約

新しいことの学習、児童生徒向け小テストの草案作成、文章のブラッシュアップが、これまでにないほど速くなります。



生徒*一人ひとりに 合った学習

生徒*は、練習問題等でつまづいている箇所を基に学習方法のヒントを生成することができます。



創造力の 刺激

授業の新しいアプローチに関する斬新なアイデアや、ヒントを得ることができます。



学習に自信を 持つ

即時のサポートとリアルタイムのフィードバックで、教員・生徒*をサポートします。生徒*は、生成 AI を実際に体験して、AI が活用される未来に備えることができます。

*13 歳以上にお使いいただけます (2025 年 3 月時点)

Gemini とチャットしてみよう

gemini.google.com



Gemini の教育現場での活用

Gemini は授業計画の立案をサポートしたり、小テストの草案を作成したり、教師の時間の節約に役立てることができます。また、Gemini は複雑な事象や概念を具体例を交えて素早く説明することもできるので、生徒* の理解度を深める助けにもなります。

*13 歳以上にお使いいただけます(2025 年 3 月時点)

例:

あなたは中学校 1 年生の先生です。地理の授業で、前提知識のない生徒たちに地殻変動を教える 50 分間の授業案を作成してください。なお、グループ活動 2 つを含んでください。

物理学の専門家として、熱力学のエントロピーという概念を、物理学に詳しくない人にも分かりやすく説明してください。そして、日常での例もいくつか教えてください。

事例

Gemini で実現する新しいティーチングスタイル 埼玉県立川口高等学校 伊藤 博之 先生

生徒がつまずいている箇所分からない質問や単語を Gemini に解説してもらうことで、先生に直接質問できずつまずいている生徒を減らしました。また、Gemini は具体例を交えて説明してくれるので、生徒の学習の理解度を深めることができました。



▶動画はこちら: <https://youtu.be/3XqSzoHy5ME>

はじめての Google の生成 AI 講座

Gemini アカデミー 教育者様向け

Geminiアカデミーへようこそ

本アカデミーは、Google の AI、Gemini を使って、文章を作成したり、計画を立てたり、新しいことを考えたりできる 3 部構成の教育者向けのオンラインプログラムです。初めての方でも AI に関して考えて、実際に業務においても AI を活用できるように構成されています。

基本的な AI リテラシーを高めるだけでなく、安全かつ責任をもって Gemini を活用する方法、創造性と生産性を高め、皆さんの毎日をサポートするツールとして Gemini を活用する方法なども学ぶことができます。

オンライン・オフラインの講座とオンデマンド配信の講座をご用意しておりますので、皆様のご希望に合わせてぜひご参加ください。



はじめての Google 生成 AI 講座 Gemini アカデミー 教育者様向け

教育現場での生成 AI 活用例、生成 AI が生成した回答の検証ポイント、安全かつ責任をもって AI を使用方法等を学ぶことができます。オンデマンド配信の講座をご用意しておりますので、皆様のご希望に合わせてぜひご参加ください。



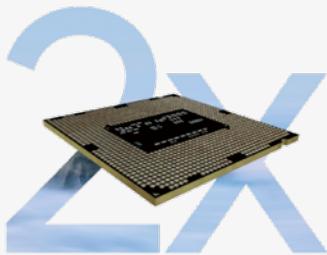
<https://rsvp.withgoogle.com/events/gemini-academy-jp/>

教員向け端末 Chromebook Plus で より強力な AI のサポートを

Chromebook Plus は、教員の働き方改革を強力にサポートするツールです。高速処理、Google フォトの消しゴムマジックなどの Google アプリと AI を活用した機能など、教育現場で求められる機能を備えています。これにより、教員は事務作業の負担を軽減し、より創造的な活動に集中できるようになります。また、児童生徒とのコミュニケーションも円滑になり、より効果的な学習環境を提供することが可能です。



2 倍の処理能力¹ と、魔法のような Google の AI アシスタント



2 倍の処理能力¹

2 倍の処理能力を誇るインテル® Core™ プロセッサまたは AMD Ryzen™ プロセッサに加え、最大 2 倍のストレージとメモリを搭載¹。やりたい作業をすぐに始められます。



魔法のような Google の AI アシスタントを 体験しよう

Gemini で、毎日のタスクをさらに効率化。新しいアイデアをたくさん出したり、内容をすばやく理解したり²、画像を生成したりすることができます。

1 2023 年 7 月から 12 月までの主要なトップセールの Chromebook と比較した場合。 2 文書読解サポートは近日提供予定です。

働き方改革、業務効率化に貢献

 高速処理、大容量メモリ・ストレージ

より多くの作業をスムーズに行え、業務効率が大幅に向上。

 フル HD ディスプレイ

資料作成や動画編集など、視覚的な作業も快適に。

 高性能ウェブカメラ

オンライン会議や授業の画質が向上し、コミュニケーションが円滑に。

 AI を活用したビデオ通話機能

ノイズキャンセリングや背景ぼかしなど、プロフェッショナルなビデオ会議を実現。

教員の創造性を刺激

 Adobe Photoshop Web 版、Adobe Express との連携

写真編集やデザイン作業も可能に。

 AI による文章生成機能

文書やレポート作成を効率化。

 AI による画像生成機能

オリジナルの教材やプレゼンテーション資料の作成をサポート。



Chromebook を比較

用途に合わせて選びましょう。

Chromebook スペック比較	 chromebook	 chromebook plus	
 基本性能	 最大 10 時間の バッテリー ^{※1}	 10 秒以内の スピーディな起動	 ウイルスを 完全シャットアウト ^{※2}
 包括的な デジタル学習 環境	Google Workspace for Education、Chromebook App Hub の人気のアプリ、 Chrome ウェブストアの拡張機能とシームレスに連携		
AI AI 機能	バックグラウンドで AI を活用 Chromebook のパフォーマンスを最適化	 Gemini + その他 AI 機能 Gemini 搭載 + その他 Google AI の様々な機能が使用可能	
 処理能力	資料作成やブラウジングを 快適にできる処理能力	通常の Chromebook の 2 倍の処理能力 ^{※3}	
 ストレージ	32GB ~	128GB ~	
 メモリ	4GB ~ 安定したマルチタスクの実現	8GB ~ Adobe Photoshop や Adobe Express ^{※4} など 高度な編集アプリも複数利用できる	
 ビデオ会議	720p	1080p	
 データの オフライン利用	 Google ドライブ内のデータを選んで ダウンロードすればオフラインでの データ使用が可能	 +  「ファイル同期 ^{※5} 」機能を使えば Google ドライブのデータをすべてオフラインで 使用が可能	

※1 バッテリーの持続時間は、デバイスや使用環境、使用法およびその他の条件によって異なる場合があります。※2 2024年10月現在、ウイルス攻撃が ChromeOS へ行われたという記録はありません。この記録は、米国および社内の様々なデータベースの監視に基づいています。※3 2023 年 7 月から 12 月までの主要なトップセールスの Chromebook と比較した場合。※4 Adobe Photoshop / Adobe Express のサブスクリプションが必要です。※5 この機能を使用するには、インターネット接続とアプリのダウンロード、ドライブの空き容量が必要です。

▶ 詳細はこちら: https://edu.google.com/intl/ALL_jp/chromebooks/find-a-chromebook/devices/?topic=advanced-use



Google for Education GIGA スクールパッケージ

この先の GIGA スクールも、Google と一緒に。

GIGA スクール構想 第 2 期に向け学習・校務の ICT 環境に必要な全てがそろったソリューション

各パートナー事業者様の基本パッケージ*

Google for Education GIGA スクール パッケージ

Google Workspace for Education 環境をベースに、GIGA 第 2 期 向けに提供される
専用 MDM ライセンスとよりスムーズな導入や活用支援のためのサポートパック

Google for Education

Google GIGA License
(専用 MDM ライセンス)



GIGA スクール サポートパック



+

GIGA 標準仕様の端末*



デプロイメント(役務)* 運搬費、情報機器の設置・据え付け



※パートナー事業者様にてご用意

Google GIGA License (専用 MDM ライセンス)

Google GIGA License とは

Google GIGA License は、GIGA スクール構想 第 2 期の補助事業対象の教育機関様向けに提供される、新しいデバイスライセンス (MDM) です。端末管理機能に加え、データの可視化など、GIGA 第 2 期での環境ニーズに幅広く対応します。また、Google GIGA License をご購入いただいた教育機関様には、6 つの特典 (GIGA スクール サポートパック) が提供されます。



GIGA スクール サポートパック



トライアル サポート (試験利用)

まだ Chromebook を使ったことのない方向けに端末貸出や、実証のサポート



新規導入サポート (環境構築支援)

Google Workspace for Education 環境の初期設定やアカウント作成・移行支援



Kickstart サポート (研修計画 / 利活用研修)

現状把握から、研修計画立案をご支援し、各種ニーズに合わせた研修をご提供



継続導入サポート (環境確認・更新支援)

今の設定や新しい機能の設定を確認したいなど、現状の環境を確認更新



データ可視化サポート (データ利活用支援)

GIGA 端末・アプリの利用状況の客観性データの保管とダッシュボード環境構築



リサイクル サポート (廃棄端末の回収)

GIGA 第 2 期端末回収・処分計画立案と、第 1 期末末の無償回収・処分をご紹介

Google for Education GIGA 関連情報ウェブサイト
giga.withgoogle.com

GIGA 関連情報
ウェブサイトは
こちら



Google for Education GIGA 関連お問い合わせ窓口

askgiga@google.com 0120-546-946

9:00-18:00

月曜日～金曜日 (祝日、年末年始除く)

教育向けに設計され、授業向けに開発された 軽量で耐久性の高い共有可能なノートパソコン

Chromebook で 児童生徒主体の効果的な学びを促す

Chromebook は創造とコラボレーションに役立ち、シンプルかつ安全で、共有に適した端末として開発されました。使うアプリはすべてウェブベースなので、ソフトウェアは不要です。導入後も、拡張機能や自動更新、多層型セキュリティの機能により、Chromebook は常に改善され続けます。



数字で見る Chromebook

Chromebook は使いやすさ、セキュリティなど教育との親和性が高く評価されており、日本の教育機関でも採用が急速に伸びています。

教育用パソコンとしての世界の利用台数

5,000 万台

パソコンの管理に関わる時間

76% 削減*

*2024 FORRESTER Whitepaper

他のパソコンと比べた 3 年間のトータルコスト

57% 削減*

*2020 IDC Whitepaper

日本の小中学校において Chromebook は 高い支持を獲得

調達予定の端末台数
全国 1,741 自治体のうち

ChromeOS が 57%^{※1}

全国端末調査における Chromebook 端末
3OS 評価において 21 項目中

14 項目高評価^{※2}

※1「GIGAスクール構想実現に向けたICT環境整備調査」(MM 総研 2024 年)

※2「GIGA スクール端末の選定における 3OS 評価と活用課題の調査」(MM 総研 2020 年)

Chromebook の特徴

起動が速く、バッテリーは長持ち

起動は 10 秒以内。長時間駆動バッテリーを備えているので、1 回の充電で終日利用できます。メモリ不足による速度低下は一切なく、操作は快適です。

最新のセキュリティ アップデート を実装

バックグラウンド更新により 4 週間ごとに新しい機能とセキュリティがインストールされます。

多彩な形状、サイズ、価格

耐久性があり、予算に合わせて選べる幅広い価格帯も魅力です。サイズや形状も豊富にあるため、学校のニーズに適した端末を見つけられます。

どこにいても学べる

生徒はどのデバイスからでも各自のアプリや設定などにアクセスできます。共同プロジェクトによって生徒のデジタルスキルを高め、生徒の将来をサポートします。

児童生徒同士で端末を簡単に共有

Google アカウントにログインするだけで、個人の設定や拡張機能のすべてが自動的に適用されるので、共有パソコンとして最適です。

一元的な設定・管理

Google GIGA License の管理コンソールを使用すれば、1 台の端末から同じドメインのすべての端末を遠隔で管理、設定できます。

※詳細は 13 ページをご覧ください。

Chromebook のユーザー補助機能について

Chromebook にはすぐに使えるユーザー補助機能が含まれており、様々なニーズ、能力、学習スタイルの児童生徒に学習環境を提供します。機能の設定、使いやすいアプリや拡張機能によって、すべての児童生徒が集中して学習に取り組めるように学習環境のカスタマイズが可能です。

▶詳細はこちら：https://edu.google.com/intl/ALL_jp/our-values/accessibility/



Chrome Education Upgrade

Chrome Education Upgrade が ChromeOS のデバイス管理を強化

Chrome Education Upgrade なら、Chromebook のあらゆるデプロイ、オンボーディング、セキュリティ、IT サポートを強化できます。

“ Chrome Education Upgrade がクラウド化の支えになっています。1つの端末で何千台もの Chromebook を簡単に管理できるため、端末管理のトラブルを未然に防ぐことができます。

春日井市立高森台中学校
元校長 水谷 年孝 氏

Chrome Education Upgrade がより高度な管理を実現



センシティブ データの保護を強化

デバイス、アプリ、アカウントのセキュリティ設定、ルール作成、アクションの自動化を簡単に管理できます。



デバイスを広範に管理

学校のニーズの変化に応じて、ハードウェアの追加や削除、学習コンテンツへの生徒のアクセス設定をシームレスに行うことができます。



常時制御を実現

管理コンソールの一元管理された設定により、データやデバイスのモニタリング、潜在的な脅威の調査、フリート全体に対するアクションの実施を簡単に行うことができます。

Chrome Education Upgrade で ChromeOS の機能を最大化

コントロール センターで一元管理

Google 管理コンソールから、何千台もの Chromebook を 1 台も触れることなくデプロイできます。また、デバイスの使用状況や潜在的なサイバー脅威に関するレポートも確認できます。デバイスの自動再登録、セキュリティ アップデートのプッシュ、紛失または盗難にあったデバイスのロックなども行うことができます。

高度なユーザー設定

教育者や生徒が学校所有のデバイスにログインする際に適用される設定を簡単にカスタマイズできます。セーフブラウジング モードで不適切なコンテンツをブロックすることも、気が散る要素を減らすこともできます。ユーザー アクセスを管理し、Chrome をはじめとするアプリや拡張機能へのポリシー設定が簡単にできます。

教育に特化した機能

Chromebook で共通テストを実施したり、テスト中に生徒のデバイスから外部ページへのアクセスを制限したり、読書や研究時間中にログインを不要にして Chrome にアクセスしやすしたりできます。

Chrome Education Upgrade について

▶ 詳細はこちら: <https://edu.google.com/chromebooks/overview/>



Google Workspace for Education のシンプルかつ柔軟で 安全なツールを使用して、教育環境の質を向上させましょう

一連の教育向けツールで、 学びの扉を開く

Google Workspace for Education は、教員による学習機会の創出、管理業務の効率化、児童生徒の批判的思考力の育成を可能にします。教員や児童生徒同士がリアルタイムで共同編集できる各ツールは単独でも力を発揮しますが、組み合わせて使用すればさらに効果的です。



Google Workspace for Education ツール一覧

クラスを管理



Google Classroom

直接児童生徒と交流して課題や提出物が管理でき、児童生徒にわかりやすく指導ができる



Google フォーム

簡単にアンケートやテストを作成でき、集計結果はスプレッドシートにリアルタイム反映



アサインメント

Google Workspace のツールとともに使用して、課題の出題、分析、採点が簡単にできる



確実な管理

Google 管理コンソール

最高クラスの多層防御セキュリティにより、オンライン上の脅威から保護できる



Google Vault

組織のデータ管理と監査

最適な方法でのコミュニケーション



Gmail

メールの送受信や整理、連絡先の管理を行い、様々な学習スタイルに対応できる



Google Meet

学校や自宅から、どんな端末でも、簡単な操作だけでオンライン授業や会議に参加できる



Google グループ

ミーリング リストを作成したり、クラス、チームなどのグループで議論できる



Google Chat

直接、または少人数のグループ メッセージで会話やグループで共同作業ができる

場所を問わず共同編集が可能



Google ドキュメント

オンラインで文書を作成、編集、共同編集し、ニーズや学習スタイルに合わせて活用できる



Google スプレッドシート

表計算だけでなく意見集約など多様な活用方法で、リアルタイムに複数人で編集ができる



Google スライド

授業での発表などでのプレゼンテーションを作成と編集、複数人で共同編集できる



Google ドライブ

ウェブ上のファイルのアップロード、編集、共有を行える。多様なファイル形式に対応



Google サイト

保護者に対するポータルサイトなど、簡単なウェブサイトを作成できる

すべてのタスクを管理



Google Keep

多機能メモアプリで、アイデアやタスクを管理でき、他のユーザーとも共同作業ができる



Google カレンダー

授業や会議の予定を管理・公開でき、個人用のリマインダーを追加できる



Google ToDo リスト

業務のタスクを効率的にリストアップし、管理できる

Google Workspace for Education についての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶ 詳細はこちら: https://edu.google.com/intl/ALL_jp/workspace-for-education/editions/overview/



教育機関のニーズに合わせて柔軟なオプションから選択

最適な Google Workspace for Education エディションの利用を開始しましょう

無償エディション*

Education Fundamentals

教育と学習のための安全で使いやすいツールの基本的なスイート。

教育と学習に不可欠な以下のような機能が利用できます。

- ✓ Classroom、ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォーム、Gmail、ドライブ、Meet、Google サイト、Chat、カレンダーとのコラボレーション
- ✓ Google 管理コンソールのセキュリティツールと管理ツール
- ✓ 組織で共有できる 100 TB のクラウドストレージプール
- ✓ データ保護機能が強化された教育向けの AI 搭載アシスタント、Gemini アプリ

有償エディション

Education Standard

デジタルの脅威からユーザーを予防的に保護する高度なセキュリティ、管理、分析ツール。

Fundamentals のすべての機能に加え、以下の機能が利用できます。

- ✓ 状況確認を迅速に行える、一元化されたセキュリティ ダッシュボード
- ✓ セキュリティ上の脅威の防止、検出、修復を可能にする管理機能と可視性
- ✓ コード不要のカスタムアプリ作成を実現する AppSheet
- ✓ エンタープライズレベルのデータ保護を完備した教育向けの AI 搭載アシスタント、Gemini アプリ
- ✓ より深い分析と優れたデータ可視化

Education Plus

おすすめ

高度なセキュリティ、分析、管理ツールと、教育と学習のためのプレミアム機能を備えたオールインワンのソリューション。

Fundamentals と Standard のすべての機能に加え、以下の機能が利用できます。

- ✓ デジタルの脅威からユーザーを予防的に保護する高度なセキュリティ機能と分析機能
- ✓ 教育者の指導効果を高める、教育と学習の高度なツール
- ✓ エンタープライズレベルのデータ保護を完備した教育向けの AI 搭載アシスタント、Gemini アプリ
- ✓ 簡単に利用でき、共同編集が可能な Google Vids の動画作成機能
- ✓ 教職員向けおよび生徒向けライセンスごとの追加のドライブストレージ

*利用資格を有する教育機関で無料でご利用いただけます。



Chromebook と Google Workspace を多様な形で組み合わせ活用することで、各児童の個別最適な学習や課題発見・解決力の育成に役立てられます。また、教員からすると子どもたちの状況を把握し、それを学習指導に活かしていける点が大きなメリットです。

川崎市立旭町小学校 校長 添野 雅美 氏

GIGA スクール構想 | クラウド型教育プラットフォームの利用状況

調査に回答いただいた自治体 (n=1,490) の内、半数以上に Google Workspace for Education をご利用いただいております。

※複数回答



©2021 MM Research Institute, Ltd.

Google Workspace for Education のユーザー補助機能について

ニーズや学習スタイルの異なる児童生徒に対して、Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google フォーム、Google スライドなどの Google Workspace アプリで効果的な指導を行う方法をご紹介します。

▶詳細はこちら: https://edu.google.com/intl/ALL_jp/our-values/accessibility/google-workspace-for-education-accessibility/



指導と学習を一元管理

より効果的かつ有意義で、 コラボレーションに基づく指導を

Google Classroom は Google Workspace for Education に含まれる、教育者の協力のもとに構築された、無料の学習プラットフォームです。クラスの作成、課題の出題と採点、フィードバックの提供などを 1 か所で行うことができ、教員と児童生徒のコミュニケーションの促進に役立ちます。



Google Classroom の特徴



すべてに 1 か所に対応可能

すべての学習ツールをまとめて、複数のクラスを一元的に管理することが可能。



簡単な操作

学校コミュニティの誰もが数分で Classroom を導入可能。



共同作業に適した設計

クラス全体で同時に同一のドキュメントで作業を進めることや、Google Meet を使って画面越しに対面してつながることが可能。



どこからでもアクセス可能

場所やデバイスを問わずに指導や学習を支援し、より高い柔軟性とモビリティを備えたクラスを実現。

Google Classroom 演習セット

インタラクティブな課題の作成、自動採点機能、より個別最適化されたヒントの提供などを通して、児童生徒へのより良いサポートを実現します。

※ Teaching and Learning Upgrade / Google Workspace for Education Plus で利用可能です



▲動画はこちら



ノートをスマホのカメラで撮って Google Classroom にアップさせることでノート提出に代えることにしてみました。職員室の机上が生徒のノートで埋め尽くされることもなくなりましたし、教師が行うノート評価も、生徒が行う自学自習も遅滞なく進められます。

埼玉県立越谷南高等学校 外国語科 高橋幸次郎 氏

ペーパーレスで課題を作成、家庭で学習、リアルタイムで確認。保護者とのコミュニケーションもサポート

Google Classroom により、教員と児童生徒は常に情報が整理され、生産性を向上できます。例えば、Google Classroom で課題を配布した後、個々の進捗状況、完了した人数をリアルタイムで確認して、児童生徒に成績やコメントを迅速に提供できます。クラスのトピックや課題は別のクラスにコピーできるので、作業が効率化され、時間の節約にもつながります。膨大な教材や資料は、Google Classroom の [授業] ページにまとめましょう。課題や読み物、ビデオを投稿して児童生徒に家庭学習を割り当て、授業の時間はディスカッションなどに充てる反転学習も実現できます。[メンバー] ページでは、保護者、児童生徒、副担任の管理が可能です。Google Classroom は教員、児童生徒だけでなく、保護者とのコミュニケーションもサポートします。



Google Classroom についての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶詳細はこちら：https://edu.google.com/intl/ALL_jp/workspace-for-education/products/classroom/



しっかりサポートで安心！ 導入や活用に関するなるほど！なヒントや事例を紹介

こういうときはどうしたらいい？ 他の学校はどうやっているの？ そんな疑問の解消や、Chromebook 活用のヒントをまとめたお役立ち情報です。上手に使って、導入時や授業に活かしてみてください。



サイバーセキュリティ ガイドブック

小中高の教育機関のハードウェアやソフトウェアを設定、構成する際にサイバーセキュリティを強化するための、IT 管理者向けのガイダンスとベスト プラクティスを紹介します。

goo.gl/cyber-guide-jp



Google Workspace for Education お申し込み方法のご案内

これから Google Workspace for Education をお申し込みされる教育機関の皆様のためのガイド

<https://goo.gl/gws>



GIGA 関連情報ウェブサイト

GIGA スクール構想を推進する学校の先生や IT 管理者、教育委員会のみなさんのためのサイトです。学校現場に活かせるツールや資料、トピックに応じた学習コンテンツの検索が可能です。

<https://giga.withgoogle.com>



Google for Education 活用ライブラリ

先生方の悩みを解決し、より良い授業づくりをサポートするため、様々な活用事例やアイデアをご紹介します。

<https://goo.gl/library>



Google for Education 導入事例

日本の学校の導入事例動画をまとめたプレイリスト

<https://goo.gl/video-jp>



Google Classroom ビデオシリーズ

Google Classroom の活用方法をまとめたプレイリスト

<https://goo.gl/classroom-jp>

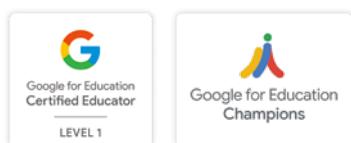


導入サポート

初めての ICT 導入も安心。教育者を支援する、 様々なサポート体制

教育者のサポートと専門的能力の育成

学校で教え合う形を実現する 教育者認定資格試験



教育者が Google のツールを効果的に活用できるようにするために、教育者向け認定資格コースを提供しています。また、こうした教育者のトレーニングや研修をサポートするための認定プログラムも用意しています。

オンライン学習コンテンツ



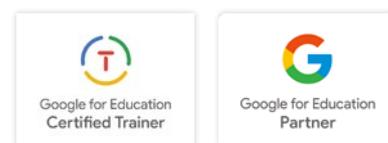
教育者向けに、授業に役立つ無料のオンライントレーニングを用意しています。Teacher Center では、Google ツールの初めての利用から上級者向けまで、目的とレベルに合わせてコースを選択できます。

▶詳細はこちら:

https://edu.google.com/intl/ALL_jp/for-educators/training-courses/



トレーナーとのネットワーク



個人トレーナーや、専門能力開発プログラムを提供する認定パートナーのサポートを受けることができます。Google for Education のソリューション、導入サポート、IT サポートなどを提供しています。

Google 教育者グループ(GEG)



Google Educator Groups
Japan

テクノロジーの活用で充実した教育を実現するために、教育者同士の関係を築く場が設けられています。「学ぶ。共有する。影響し合う。能力を高める。」の 4 つが GEG のキーワード。日本各地の、教育者による、教育者のためのコミュニティ*の立ち上げを、Google は支援しています。

*各グループは地域のボランティア（GEG リーダー）によって管理され、企業としての Google からは完全に独立しています。

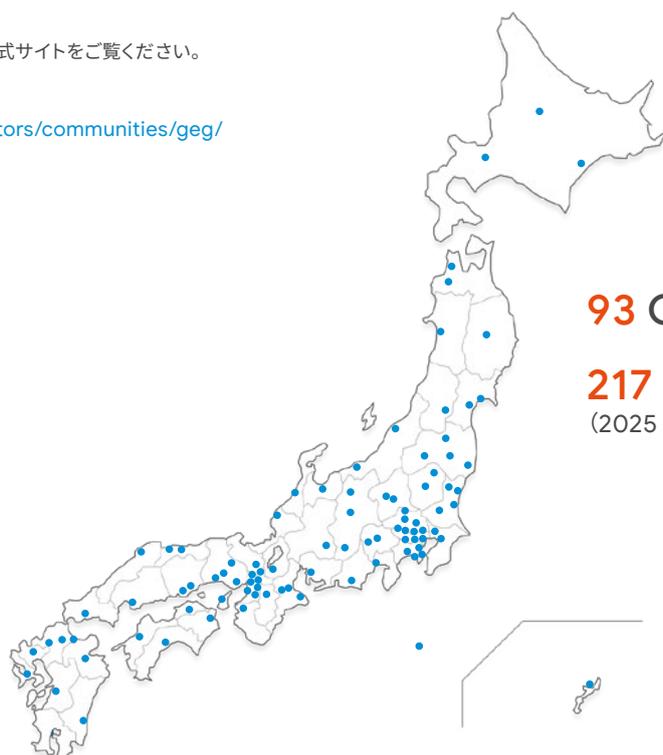
GEG についての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶詳細はこちら:

https://edu.google.com/intl/ALL_jp/for-educators/communities/geg/



Google 教育者グループ(GEG)は、地域の教育者がオンラインやオフラインの交流を通じて、教室での効果的なテクノロジーの活用に関して情報を交換し、協力し、互いに助け合う場です。全47都道府県に設置されています。



93 GEG (47 都道府県)

217 名のリーダー
(2025 年 3 月時点)

Google for Education 認定パートナー

導入の検討から、現場のニーズに合わせた Google ツールのカスタマイズ、導入後の操作や活用方法の研修まで、Google for Education 認定パートナーがサポートします。

Google for Education のトレーニングとサポートについての詳細は、Google for Education 公式サイトをご覧ください。

▶詳細はこちら：https://edu.google.com/intl/ALL_jp/resources/get-started/professional-development/



端末メーカー



ディストリビューター



リセラー

▼ Google Workspace for Education リセラー



▼ Chrome Education Upgrade リセラー



Specialization パートナー



Build パートナー



※ アルファベット順で表記しています。

「これからの学び」を実現するために

日本の教育の未来を動かす 3 つのトレンド

Google では、生い立ちや経歴にかかわらず、誰もが質の高い教育を受ける権利があると考えています。今日、教室や自宅をはじめ、どのような場所でも学べる機会を得ることが、かつてないほど重要になっています。激変する未来に向けて、教育の役割はどうあるべきでしょうか？ そして、教育の形はどのようになっていくのでしょうか？ Google はこの問いに答えるために、調査パートナーの Canvas8 と共同で、24 か国を対象とした国際調査を実施しました。このレポートでは、教育の未来に関する 9 つの世界的なトレンドについて取り上げています。その中から、日本の教育の未来を動かす 3 つのトレンドに焦点を当てたいと思います。

個人

世界的問題を解決する
能力へのニーズの高まり

仕事に求められる
スキルセットの変化

生涯学習を重視する
考え方への移行

学校

個々に合わせた学びを
提供する

学びのデザインを
再考する

教員の役割を
引き上げる

システム

学習環境を
アップグレードする

データの力で
教育者を支援する

生徒の成長を
再評価する

1. 仕事に求められるスキルセットの変化

テクノロジーの進歩に伴い、教育現場では、児童生徒が新しい仕事の世界で活躍するために必要な、需要の高いスキルを身につけることに焦点が当てられ続けています。児童生徒が学び、学び直すことができるようになることが、これまで以上に重要なのです。また、彼らに必要なスキルは、従来のような教員中心の一方通行の教育ではなく、テクノロジーに支えられた学習者主体の共同学習によって得られます。

必要なスキルとは？

分析的思考とイノベーション

アクティブ ラーニングと学習戦略

複雑な問題解決能力

批判的思考と分析

創造性、独創力、イニシアチブ

日本政府は、児童生徒がこれらのスキルを身につけるためのツールを提供する GIGA スクール構想を掲げ、現在 1,300 万人の教員と児童生徒が自分のデバイスとアカウントを持っています。しかし、端末を配ることが GIGA スクール構想のゴールではなく、スタート地点です。ゴールは教育の変革であり、児童生徒が社会の問題を解決し、より良い未来を築くために本当に必要なスキルと経験を得られるようにすることです。

Google は、この変革の一端を担えたことを大変誇りに思っています。児童生徒が将来必要とされるスキルを身に付けていく、その伴走役として教育の変革をサポートしていきます。

2. 個々に合わせた学びを提供する

子どもは一人ひとり異なり、ニーズも才能も、周囲の世界を理解する方法も異なります。

教員は、児童生徒一人ひとりをサポートする重要な役割を担い、タスクやリソースを差別化し、児童生徒に選択肢を与え、自分のペースで学習できるようにすることに時間を費やしています。

「学習者各個人の好みに合わせた指導」や「学習者各個人の学習ニーズに合わせたペース配分」が求められている今日、テクノロジーはこれらの業務を効率化し、個別最適化した学びの実現を可能にしています。

Google Workspace for Education プラットフォームには、学習の個別最適化に役立つ機能があります。

Google Classroom 演習セットのご紹介

<https://youtu.be/bsp-isZOy7Y>

Google Classroom の新ツール「演習セット」がリリースされました。

演習セットは、**インタラクティブな課題の作成**、**自動採点機能**、**より個別最適化されたヒントの提供**などを通して、児童生徒へのより良いサポートを実現します。

その他 Google Workspace for Education の詳しい機能は p. 14 へ



▲動画はこちら

3. データの力で教育者を支援する

児童生徒や教員が多くのテクノロジーを学習に利用するようになると、より多くのデータが生成されます。それは、児童生徒一人ひとりの学習の成長、改善のために必要なこと、教師がサポートできることを理解するのに非常に役立ちます。1人1台端末環境が整った今、児童生徒が ICT を使って学んだ履歴は、貴重な財産として蓄積し可視化することが可能になりました。Google のツールは、これまで教育委員会、学校、児童生徒たちなどが個別に保有していたデータを一元化。豊富なデータを可視化し、分析結果を様々な形の利活用につなげる支援をします。

Google Workspace for Education Plus 導入事例

<https://youtu.be/Ns5sEUOI0yw>

高知県では「ひとり1台」のその先を見据え、小中高で使用する端末として Chromebook を導入するとともに、

Google Workspace for Education Plus で学習データの活用をはじめています。

教育委員会や先生方のインタビューの様子をご覧ください。



▲動画はこちら

詳細はこちら

➔ <https://edu.google.com/future-of-education>



▲ウェブサイトはこちら

Google for Education 教育 DX パッケージ

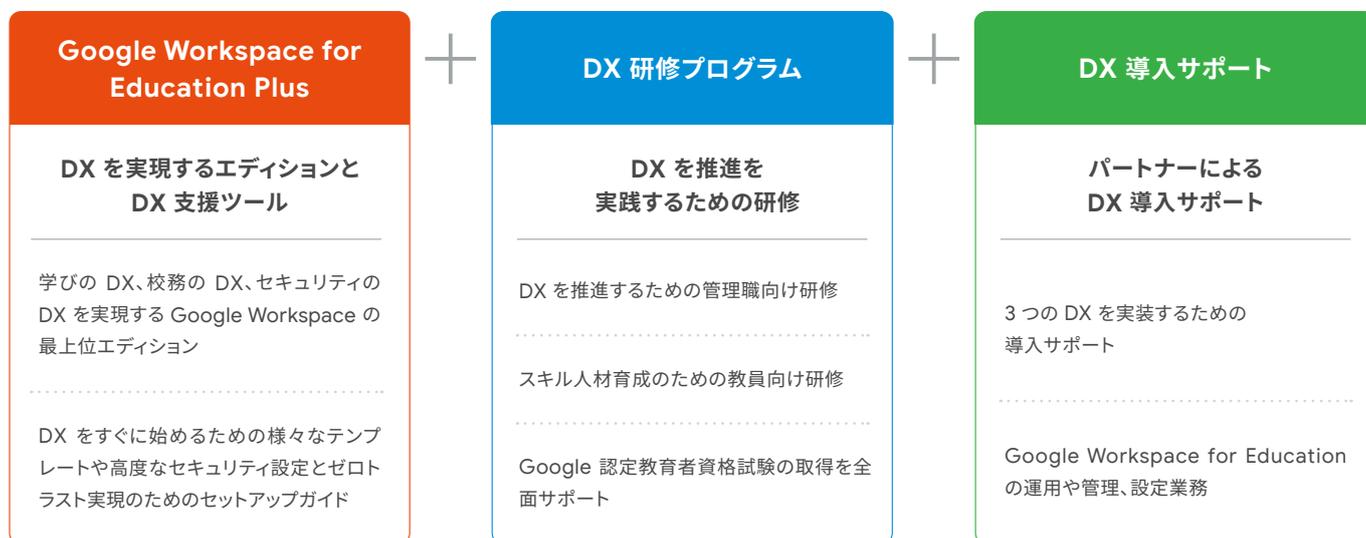
～デジタル改革を実現するために～



Google Workspace for Education の機能を最大限活用し、学びの軌跡の可視化や、校務でのゼロトラストの実装を実現するなど、教育現場での DX を推進するためのパッケージソリューションをご紹介します。

教育 DX パッケージの概要

Google Workspace for Education Plus を最大限活用し個別最適化の実践や校務改革の支援を行います。



教育 DX パッケージで実現する 3 つの DX ソリューション



学びの DX

学びの軌跡の可視化により個別最適化された学びを支援

増え続ける学習支援ツール・アプリの学習ログをクラウドで一元管理し、児童生徒が自身の学びの軌跡を振り返ったり、教員が児童生徒の学びの進捗に沿った指導をサポート



校務の DX

クラウドツールをフル活用し教員の働き方改革を促進

グループウェアの校務利用や、学校ポータル等の導入により教員の働き方を変革。資料共有や承認などもクラウドで管理すれば、情報資産に安全にアクセス可能



セキュリティの DX

時代に合わせたセキュリティ対策を実施し、より安全な ICT 環境の整備を実現

日々増え続けるサイバー攻撃や学内のネット利用のインシデント、児童生徒・教員の自宅学習や在宅ワークによるマルチデバイス利用にも、安全を考慮した高度なセキュリティ ツールの活用と環境構築をサポート

パッケージに関する
お問い合わせ

教育 DX パッケージ事務局

【受付時間】

9:00～18:00 月曜日～金曜日（祝日、年末年始除く）

0120-546-946

askgiga@google.com

Google for Education

活用法や成果の事例

日本の学校や組織の革新的な学習環境づくりの取り組み

p24 **Case 01** 水戸市教育委員会

p25 **Case 02** 長崎市立小櫛小学校

p26 **Case 03** 富山大学教育学部附属特別支援学校

p27 **Case 04** 開智未来中学・高等学校

p28 **Case 05** 山梨大学／東北大学 大学院

世界中の学校や組織が、Google for Education のツールや端末を使用し、革新的な学習環境づくりに取り組んでいます。その活用方法や成果の事例をご覧ください。

Case 01



水戸市教育委員会

茨城県水戸市中央 1-4-1

<https://www.city.mito.lg.jp/site/education/>



教育データ利活用による独自教育で日本 ICT 教育アワード・ 文部科学大臣賞を受賞した水戸市教育委員会の先進施策

茨城県水戸市では市独自の教育スタイルのもと、学力向上といじめ・不登校対策を推進する目的で教育データの利活用に着目し、様々な数値を可視化して指導に役立てる教育ダッシュボードを導入。この取り組みを支えているのが Google Workspace for

Educationです。教育ダッシュボード構築に至る経緯と実証校における成果、そして現状と未来について、水戸市教育委員会では情報教育担当の指導主事・渡辺隆氏に伺いました。

背景・課題

「水戸スタイルの教育」の実現に向けダッシュボード構築へふみ出す

水戸市では、旧水戸藩校・弘道館の“魁”の精神を受け継ぐ「水戸スタイルの教育」に取り組む中で、確かな学力の定着や学習意欲の育成、英会話力向上や情報活用能力の育成、郷土を愛する心を育てる教育の充実、いじめの未然防止や早期発見・早期対応など多様な目標を掲げています。これらの実現に向けてICT 活用

も積極的に進めており、教育データの利活用に取り組んでいます。そして、せっかく水戸市版ダッシュボードを作るのであれば、やはり本市の課題解決に資する内容にしようと考え、ダッシュボードはとりわけ「学力向上」と「いじめ・不登校の早期発見及びその対応」に活かそうと構想の初期段階でほぼ確定していました。



指導主事
渡辺 隆 氏

(水戸市教育委員会
教育研究課 情報教育係)

導入のポイント

Googleソリューションにより学力や心の健康状態の可視化を実現

2021年に小中学校でGoogle Workspace for Education Fundamentalsを導入し、教育ダッシュボード構築にもGoogleソリューションを活用。Google for Education と協議を重ね、共同で独自のダッシュボードのプロトタイプ構築を進めました。Google Classroomのデータを活用し、「学力向上ダッシュボード」では課題の採点結果の表示や評価ができるように

し、「いじめ・不登校対策ダッシュボード」は児童生徒の日々の気持ちを表示できるようにしました。生徒に日々の気持ちを「晴れ」「くもり」「雨」で入力してもらい、視覚的にこころの健康観察ができます。これらのデータ化により、支援が必要な児童生徒を見つけやすくなることを目指しました。

導入効果・活用

実証で見てきたベストなデータ活用法。ICT教育アワード最高賞も獲得

プロトタイプを使って小中学校各1校で実証事業を実施。こころの健康観察では、教員の日常観察とデータとの違いが分かり、見逃していた部分に気づくことができました。また、学習振り返りにおいては、教員からは「理解度がすぐ見える」「生徒の悩みが把握しやすい」などの声があり、生徒や保護者からも高評価が集まりました。

た。実証で分かったのは、データで教員の目を補完する“デジタルとアナログのミックス”によって、個々へのより効果的な対応が可能になるということです。2024年1月には日本 ICT 教育アワードで最高賞を受賞し、同年、プロトタイプ改修後に中学校で本導入を開始。改善を続け、2025年からは小学校にも導入予定です。

※2024 年取材



水戸市教育委員会 [事例資料はこちらからダウンロード](#)

<https://services.google.com/fh/files/misc/gfe-mito-cs-2025.pdf>

地域の教育委員会が GIGA スクール構想の一環として Google for Education を採用し、児童生徒が Chromebook と Google Workspace for Education を活用している事例や、学校での検討から導入・利用後の様子などの事例を多数掲載しております。日本全国の導入事例はこちらからご覧いただけます。



<https://goo.gl/school-jp>

Case 02



長崎市立小榊小学校

長崎県長崎市みなと坂 1 丁目 35 - 6

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/>



長崎市内の Google for Education 活用をリードする小榊小学校の取り組みに注目

長崎港の西側に位置する長崎市立小榊小学校は、児童数が約 700 人と市内でも大規模な学校です。新興住宅地の団地内にあり、児童数は増加傾向にあります。2016 年に移築された校舎の教室からは海を望むことができ、景色の良さも自慢です。同校は

2021 年度からの Google for Education 本格導入以降、教育 ICT を積極活用する取り組みで市内の小中学校をリードしてきました。その道のりと生み出した成果をクローズアップします。

背景・課題

協働的な学びに活かせる点などを評価し、Google for Education を導入

長崎市では 2020 年度中に全小中学校へ Chromebook を整備しました。長崎市教育委員会 長崎市教育研究所 主任指導主事の植田 正志氏は、「Chromebook 及び Google Workspace は協働的な学びに活かせること、Google 管理コンソールでしっかり管理でき、セキュリティも高いことなどを総合的に評価しました」と

選定の経緯を説明します。小榊小学校では 2021 年 1 月、全児童に Chromebook を配布しました。しかし、Google for Education 導入当初は、Google Workspace の多くのアプリを授業でどう活用していくか、また教員間の ICT スキルの差が授業内容や児童たちへ影響しないか、といったことを課題に感じていたといいます。



長崎市教育委員会
長崎市教育研究所
主任指導主事
植田 正志 氏

導入のポイント

積極的な情報共有で教員間のスキルの差を埋め、ICT 活用を広げる

ICT 活用を広げるこうした課題を感じる一方で、「事前の研修で Google Workspace に触れたとき、共同編集ができたり、クラウドで情報管理できたりする点にびっくりしたことを覚えています」と 6 年担任で研究主任の吉野 美佑氏は振り返ります。「教員数が 50 人と多く、これまでは職員室でも近くにいる教員としかコミュニケーションを取りにくかったのですが、いまは有益な Web サイト情報などを Google Classroom

に気軽に貼り付けてくれる教員が増え、情報共有の幅がとて広がりました」と、ICT スキルの差を埋める動きが進んでいます。導入当時、教諭指示の元、授業中のみ使用可能など、厳しい使用制限を定めていましたが、児童から「係活動で休み時間に使いたい」「友達と Chromebook で共同編集しながら何か作りたい」とのリクエストがあり、授業以外でも教員の指導のもとで自由に使えるようにしました。



教諭・研究主任
吉野 美佑 氏

導入効果・活用

個別最適な学びによって学習意欲向上につながる

Chromebook と Google Workspace の活用を通じ、児童がさらに学習に意欲的に取り組むようになりました。「クラスには 1 時間を通して授業に集中できない子、黒板に書かれた内容をノートに書き写すのが苦手な子など、様々な特性をもつ子がいます。教諭の話を集

中して聞けない子は動画教材を見せることで学習が進んだり、ノートに書けない子でもタイピングは上手でいろいろな発言するようになったりと、それぞれの特性に合う個別最適化が可能になったことで、意欲的な学習につながっているのだと思います」(吉野氏)。



※2023 年取材



長崎市立小榊小学校 事例資料はこちらからダウンロード

<https://services.google.com/fh/files/misc/gfe-cs-kosakaki-es.pdf>

Case 03



富山大学教育学部附属特別支援学校

富山県富山市五艘 1300

www.fzks.fuzoku.u-toyama.ac.jp



ICT 活用で障がいのある子どもたちの「個別最適な学び」を実現

富山大学教育学部附属特別支援学校は、小学部・中学部・高等部の3学部が設置され、計58人の児童生徒と、32人の教員が所属しています。同校では障がい児教育を先駆的に研究する富山大学の方針を受

けて、2021年度から Google for Education を採用し、1人1人の個性や多様性、障がい特性などの実態に合わせた ICT の活用に取り組んでおり、Chromebook を全児童生徒に配布しています。

背景・課題

大学の先駆的な障がい児教育研究を受け、ICT を積極活用

同校では、障がい児教育分野の研究が進む富山大学の主導により、以前から視覚的な支援ツールを活用する教育環境の整備に力を入れてきました。同校 中学部 情報主任の山崎智仁氏は、ICT が新たな支援ツールになることを期待していると話します。「障がいのある子どもたちは、聴くことより見ることが得意な場合も多く、目に見え

ないことを考えるのが苦手な傾向にあります。そうした部分を補うために ICT を使い、画面に手順を提示する、その日の活動内容を一覧で示す、活動の終わり時間を明示するといった支援を提供できます。同時に、子どもたち1人1人の多様な部分を支え育てる個別最適化のためにも、ICT は大切な役割を果たしてくれるでしょう。



中学部 情報主任
山崎 智仁 氏

導入のポイント

幼稚園・小学校・中学校との共同利用に適した Google for Education

同校では 2021 年 4 月に Google for Education を導入し、Chromebook を全児童生徒と教員に配布しました。Google for Education 導入は富山大学の発案により、附属幼稚園・小学校・中学校との共同利用に適したものとして採択されたとのことです。選定の理由について、山崎氏は次の

ように語ります。「Google Classroom による情報共有、Google ドキュメントや Google スライドを活用した情報教育の推進、Google ドライブや Chromebook のサンドボックスといった強固なセキュリティ面を重視し、総合的に選ばれたのではないかと考えています。」



導入効果・活用

授業だけでなく、様々なシーンで利活用が進む

高等部で情報を担当する紺恵氏は、「言葉の意味を理解し、書くことに興味をもてるように、教師からのコメントに画像や顔文字を入れたことで、出来事や気持ちを表す顔文字や絵文字を自分で探し、生活記録を書く生徒がいました。文字を入力するだけでなく文字の色を毎回変える生徒や、教師からの

コメントへの返事を交えて書く姿も見られました。Google ドキュメントの共働編集によってコミュニケーションの幅が広がり、楽しい、難しい、苦手など、言葉で表せる思いが広がった生徒がいたことも大きな成果です」と語りました。



高等部 教諭(情報担当)
紺 恵 氏

※2022 年取材



富山大学教育学部附属特別支援学校 事例資料はこちらからダウンロード

<https://services.google.com/fh/files/misc/gfe-cs-fuzoku.u-toyama.pdf>



開智未来中学・高等学校

埼玉県加須市委倉 1238

<https://www.kaichimirai.ed.jp>



Google Workspace for Education Plus を用いた 安心・便利な ICT 活用と学びの場

2011 年の開校当初から教育への ICT 活用を積極的に進めてきた開智未来中学・高等学校では、Google Workspace を導入し、全生徒への端末配布も実施。2021 年に無償版エディションか

ら有償版の Google Workspace for Education Plus(以下、Education Plus)に切り替え、生徒・教職員・保護者が安全かつ便利に利用できる共有環境の構築に取り組んでいます。

背景・課題

早期から ICT 環境を整備し学びへの活用を推進

開智未来中学・高等学校では、開校当初から ICT 活用に積極的に取り組み、デジタル リテラシーの強化に力を入れています。2017 年から全生徒への端末配布を実施し、2022 年 7 月に行った「学習用端末に関する調査」では、端末がすでに日常的な道具として浸透していることがわかる結果となりました。2022 年 3

月まで 2 代目校長を 4 年間務めた現理事長補佐の加藤友信氏は、開校当時から ICT 導入を一任され、現在も学校法人開智学園全体の ICT 管理・推進役を担っています。そして同氏のもと、2021 年 11 月に Education Plus が導入されました。教員に対しては、2022 年 3 月から Chromebook も配布しています。



理事長補佐
加藤 友信 氏

(前開智未来中学・高等学校校長)

導入のポイント

個人認証によるアクセス制御でセキュリティのさらなる強化に臨む

同校に赴任する以前は県立高校で教員を務めていた加藤氏が、当時から最も重視していたのが、個人認証です。その頃、端末を誰が使ったのが管理できず問題になっていたため、1 人に 1 つの認証を与える取り組みを先駆的に始めたといいます。Education Plus に着目したのも、個人認証によるアクセス制御を強化するという方針に

フィットするのが大きな理由でした。同校ではここ数年、クラウドの本格活用をスタート。基本的にはオンプレミスで構築してきた仕組みをクラウド上へそのまま移行するイメージで、セキュリティを確保しながら生徒も教員も便利に使えるようにするため、Education Plus 導入は最適な選択であったと加藤氏は振り返ります。



導入効果・活用

生徒・教員・保護者の間で Google ソリューションの利活用が進展

テナントの構成は、アクセス権をいかに設定・制御するかを中心に考えて設計しました。教職員共有、教材配布、生徒共有という 3 つのドライブを設置し、それぞれのアクセス権を細かく定めています。加えて、途中から保護者にもサブドメイン アカウントを付与し、保護者向け共有ドライブも設定しました。教頭補佐で

ICT 推進部長の役割も担う新居良太氏は、「イベントの画像や動画を安全かつ迅速に共有できるようになった点や、人数制限して実施した体育祭の来場募集を Google フォームを通じて保護者アカウントに送り、人数把握が簡単に行えた点などでは、保護者にサブドメインを付与した効果も感じています」と話します。



教頭補佐 兼 ICT 推進部長
新居 良太 氏

※2022 年取材



開智未来中学・高等学校 事例資料はこちらからダウンロード

<https://services.google.com/fh/files/misc/gfe-cs-kaichimirai.pdf>

Case 05

山梨大学

山梨大学 教育学部
山梨県甲府市武田 4 - 4 - 37
<https://www.yamanashi.ac.jp>



東北大学 大学院

東北大学大学院 情報科学研究科
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 3 - 09
<https://www.is.tohoku.ac.jp>



場所や時間の制約から解き放つ クラウドを効果的に活用して、教員の働き方をアップデート

「文部科学省により、学校における働き方改革や校務環境のフルクラウド化が方針として示されるなど、教員の働き方にも変化が求められています。1人1台環境が児童生徒の学びを変えつつある今、教員も Chromebook と Google Workspace for Education (以下、Google Workspace) を活用することで、場所や時間に縛られず、セキュリティも安全な環境下で働くことができます。そうすることで、より多くの時間を児童生徒と向き合う時間に使うことができます。しかし、クラウドを効果的に活用するには、単にアナログで行っていた作業をデジタル化するだけでなく、仕事のフローの見直し、働き方のアップデートも必要になってきます」と山梨大学の三井一希氏、東北大学大学院の堀田龍也氏はいます。その具体的な方法やポイントについて伺いました。

Google フォームの活用で、教員と保護者双方の時間に余裕が生まれた

実践
1

「何度も行う業務は、わずかな効率化でも、繰り返すうちに大きな効果を実感できます」と話すのは、山梨大学の三井一希氏。「ある学校では、保護者アンケートに Google フォームを活用し始めました。子どもを通じてアンケート用紙を配布・回収し、手作業で集計する工程が、クラウド上で完結。保護者に直接配信でき、回答も自動で集計されます。また、別の学校では、子どもが欠席する際の当日連絡を、電話からフォームに移行。回答は Google スプレッドシートにまとめられ、担任や養護教

諭が見られるようになっていました。いずれの学校でも手作業から解放され、保護者からの電話対応、未提出者への確認連絡も不要となり、教員の労力は大幅に減りました。集計結果はリアルタイムにどこからでも確認できるため、必ずしも職員室にいる必要はなく、働く場所の自由度も向上。保護者にとっても、自身の端末から通勤中やスキマ時間に回答できるため負担が軽く、好評のようです」



山梨大学 教育学部 准教授
三井 一希 氏

情報の事前共有が、行事練習や教員研修の時間を劇的に減らす

実践
2

「クラウド上の情報は、いつでもどこでも見ることができ、決まった時間に1か所に集まる手間を減らせます。例年、卒業式の合同練習を6回以上行っていたある学校は、最も時間がかかる動作や歩き方の指導に動画を導入。Google Classroom 上にアップされた過去の卒業式を撮影した動画を、子どもが事

前に視聴することによって、対面での練習は2回に減りました。また、授業方法や救命措置などの教員研修も、各教員が事前に動画を視聴する形式に。当日に説明すべき内容が減り、実践に時間を割けるようになりました」と三井氏はいます。



事前に Classroom 上で教員研修の内容と研修動画を共有

教員本来の仕事に注力するために、まずは小さなことから「やってみる」

実践の
ポイント

クラウド化による教員の働き方改革について、堀田氏は述べます。「小さな工夫の積み重ねが、大きな変化を生みます。できる人が身のまわりの困りごとに対して、少しずつクラウドを活用してみる。そして、興味を持った教員から身のまわりの困りごとに対して、少しずつクラウドを活用してみる。そして、できるようになった教員が他の教員の活用を後押しすることで、改革は確実に進んでいきます。教員がより多く向き合

うべきなのは、事務作業ではなく子どもであるはず。校務を積極的に『楽』にして、子どもと向き合う時間に振り分けましょう。三井氏、堀田氏は、先の事例のように、すぐに実践できるクラウドを活用した事例をたくさん集めたハンドブックを作成しました。どこから始めるべきかわからない方も、まずは1つやってみてはいかがでしょうか。



東北大学 大学院
情報科学研究科 教授
堀田 龍也 氏

※2023年4月取材



はじめよう! これからの教員の働き方
Google for Education を活用した校務事例ブック [事例資料はこちらからダウンロード](#)
https://goo.gle/tw_1pager

Google for Education

教員と児童生徒のためのソリューション

制作

2025 年 4 月

編集・発行

Google for Education

WEB サイトはこちら

<https://edu.google.co.jp/>



お問い合わせ

Google for Education GIGA 関連お問い合わせ窓口



0120-546-946



askgiga@google.com

【受付時間】9:00~18:00 月曜日~金曜日(祝日、年末年始除く)

Google for Education 公式サイト お問い合わせフォーム

https://edu.google.co.jp/intl/ALL_jp/contact/

Google for Education 公式サイト

<https://edu.google.co.jp>